

つなぐ つたえる 地域農業

2023年2月10日発行

No.34

十日町市農業委員会

妻有のきずな

十日町市農業委員会だより

年頭のご挨拶

向春の候、穏やかな年明けを迎え、皆様ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
いまだ、新型コロナウイルスの感染が落ちつかず、不安な年明けとなりました。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻など世界情勢の激変により、肥料や資材、燃油価格や飼料価格の異常高騰により、かつてない厳しい経営環境になっています。この影響により、さらなるコスト削減や、園芸作物の導入など複合化による経営の安定が求められてきています。

また、農業経営基盤強化促進法等の改正により、「地域計画」の策定、農業を担う者の確保・育成、農地利用最適化指針の策定、農地取得下限積要件の廃止など制度が大きく変わります。そのことにより、ますます遊休農地の発生防止・解消、農地利用最適化の推進、農地の集積・集約化など「人・農地プランの実質化」に向けて取り組む必要があります。

今後多様化する地域の課題に対応した新規就農・参入の促進等に積極的に取り組み、農地パトロールを強化することで、今後残すべき農地の選択にも取り組んでいかなければなりません。皆様からのご理解ご協力いただきますようお願い申し上げます。さて、私も農業委員会は七月に委員改選を迎えます。

農業委員二十四名、農地利用最適化推進委員三十三名以内の定員で公募いたします。高齢化や担い手不足等により状況も厳しくなっていますが、地域の皆様より応募いただきたいと思っています。

コロナ禍の終息を願い、本年も皆様健康に留意され、災害もなく、穏やかに穏やかにありますようお願いいたします。

会長 村山隆義

Topics

農業委員の活動がわかる！
トピックス



県農業委員会大会が開催 新潟県農業が楽しみになった！



報告者：網 大介
(農地利用最適化推進委員)

令和四年度新潟県農業委員会大会が十一月十八日に新潟市の新潟テルサにて、県内農業委員、農地利用最適化推進委員が参集して開催されました。

大会では永年勤続表彰で十日町市農業委員会から川西地区の小林農業委員が十年表彰を受けられました。

その後、「これからの新潟県農業に思うこと」と題して新潟大学の伊藤忠雄名誉教授の講演がありました。大量に集められた様々なデータをもとに考えられる新潟県農業の行く末、また現状を打破するヒントをふんだんにちりばめたお話を聞くことができ、これからの新潟県農業がより楽しみになりました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、大勢の委員が顔を合わせる機会が減りましたが、往復のバスの車内では、久しぶりに会った先輩委員からユーモアを交えたご指導があり、大変有意義な時間を過ごすことができました。

永年勤続表彰

新潟県農業委員会大会において、農業委員・農地利用最適化推進委員の永年勤続表彰がありました。

農業委員・農地利用最適化推進委員勤務
10年以上

小林 幹司 農業委員(川西地区)



大会の様子

全国農業 新聞



ここが嬉しい！全国農業新聞

農家の経営や暮らしに役立つ情報もりだくさん！

- ◆オールカラーで「見やすい」「分かりやすい」！
- ◆見本誌や購読お申し込みはお近くの農業委員または農業委員会事務局まで

毎週金曜日発行 B3版 8~10p 購読料：月 700 円（送料・税込）

農業者との意見交換会を開催



報告者：真霜 賢一

(農地利用最適化推進委員)



意見交換会の様子

令和四年十一月二十二日、十日町市農業委員会振興部会が主催する「農業者との意見交換会」が開催されました。

意見交換会では「農作業料賃金及び農作業請負標準料金について」や「標準小作料について」などの市内農業情勢における状況について意見が交わされました。燃料や肥料が高騰している現在、作業請負料金や小作料もこのままでよいのか考えさせら

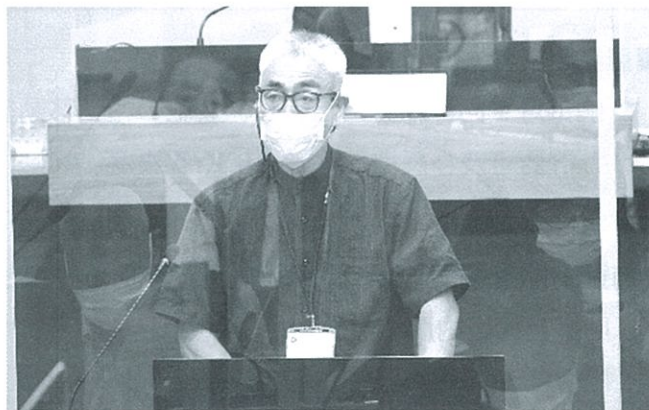
れました。

農地所有適格法人の方々も参加していて、様々な状況や条件で請負うことができない農地があり、圃場の整備が必要との話もありました。

今後、各法人を含め、農業者と農業委員会が協力してさまざまな問題に取り組んで行く必要があると感じました。

「農業委員の独立性は」 農業委員会長の議会答弁

九月市議会の一般質問で、滝澤繁議員から「平成二十七年以前の農業委員の選任は選挙制度であったが、今は市長選任制となっている。農業委員会の独立性はどのように担保されているのか。」との質問がありました。村山隆義農業委員会会長から「農業委員会法改正により委員の選任方法は変わりましたが、地域の農業者から選ばれた各委員が農地の権利移動を許可する仕組みは変わっておらず、農業者の



議会答弁の様子

農業者年金のご案内

60歳未満、国民年金第一号被保険者、農業従事日数60日以上なら、誰でも加入できます。詳しくはお近くの農業委員会またはJAへ！



自治を体现しています。委員の公選制廃止や建議の法定業務からの除外など、制度の見直しがありましたが、農業者の意見を取りまとめて市への要望も行い、農地の利用集積、遊休化農地の抑止などにも大きな役割を果たしております。戦後農政の基本的枠組みと変わっておらず、独立性は担保されていると考えています。」と答弁しました。

農業委員、 農地利用最適化推進委員を 募集します！

令和五年七月十九日をもって任期満了となる農業委員及び農地利用最適化推進委員を募集します。募集概要をお知らせします。

	農業委員	農地利用最適化推進委員
定数及び 選出方法	24 名（うち利害関係を伴わない者 1 名） 委員の過半数が認定 農業者であること	33 名以内 地区別定数 十日町 1 名、川治 3 名、 中条 4 名、下条 2 名、 吉田 2 名、水沢 5 名 川西 5 名、中里 5 名、 松代 3 名、松之山 3 名
応募資格	農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化推進に関する事項その他の農業委員会が所掌する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者。	農地等の利用の最適化推進に熱意と識見を有する者で、担当区域内において、その推進のため積極的に活動ができる者。
任期	令和 5 年 7 月 20 日から令和 8 年 7 月 19 日（3 年間）	令和 5 年 7 月の委嘱日から令和 8 年 7 月 19 日（3 年間）
委員報酬	月額 35,200 円	月額 32,500 円
応募期間	令和 5 年 3 月 17 日（金）～令和 5 年 4 月 21 日（金）まで	

ご応募をお待ち
しております！



■農業委員の主な業務

- 毎月 1 回、総会に出席し、農地の権利移動等の
許認可及び農地転用許可に係る決定

■農地利用最適化推進委員の主な業務

- 担い手への農地集積・集約化の推進
（担当区域内農地の新規賃借の内容確認
と総会での報告等）

■両委員共通業務（両委員が連携して下記の業務を行う）

- 担当区域内農地の農地利用状況調査（農地パトロール） □遊休農地の発生防止・解消
- 農業者新規参入の推進業務 □各種説明会、研修会等への参加 □農地に関する相談対応
- 人・農地プランの実質化に向けた地域での話し合いにおけるコーディネート役

「下限面積」要件が廃止に

十日町市では市内全域の下限面積を 10 a と定めており、耕作面積が 10 a 未満の方は、農地の所有や借りることができませんでしたが、農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（改正法）により令和 5 年 4 月 1 日から下限面積要件は廃止されます。

これにより、今まで農地を所有または耕作していない方でも農地を取得等しやすくなりますが、耕作される方（世帯含む）の農機具所有状況や、農地取得後に常時農業に従事する人がいるか、全ての農地を効率的に利用して耕作することが可能か、などの要件を満たす必要がありますので注意が必要です。

（事務局）

どのように選ばれるのですか？



農業委員は、推薦を受けた方または応募した方の中から候補者を決定し、市議会の同意を得たうえで、市長が任命します。

また、法律では農業委員の過半を認定農業者が占める必要があること、農業委員会の所掌する事務については、利害関係のない人（中立委員）を含める必要があることが規定されています。

一方、農地利用最適化推進委員は、農地利用最適化推進委員評価委員会を開催し、推薦または応募した方の中から選考し、農業委員会が委嘱します。

両方とも、必要に応じて面接を行う場合があります。

農業委員と農地利用最適化推進委員の兼務は可能？



両方に応募することはできますが、兼務することはできません。

応募はどのようにしたらいいですか？



自薦または他薦により募集します。

農業委員、農地利用最適化推進委員ともに、個人推薦、団体推薦、応募（自薦）それぞれに応じた届出書がありますので、必要事項を記入のうえ、農業委員会事務局まで持参または郵送してください。応募期間は令和5年3月17日（金）から令和5年4月21日（金）までです。

応募用紙（届出書）はどこで手に入りますか？



十日町市役所（2階）農業委員会事務局や、川西・中里・松代・松之山の各農業委員会事務所にあります。

また、十日町市ホームページよりダウンロードも可能です。

「十日町市ホームページ」→「組織から探す」→「農業委員会」→「農業委員会事務局」→「業務案内」→「農業委員会について」で見つけることができます。ワード、PDFでご用意しています。

職務を行う上での注意点はありますか？



両委員とも十日町市の特別職の非常勤職員となります。

そのため秘密保持の義務があります。委員の職務上で知り得た情報は、在職中だけでなく退任後も漏らしてはいけません。

お問い合わせ先

十日町市農業委員会事務局

〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地

TEL:025-757-3286 FAX:025-752-4635 E-Mail: t-noi@city.tokamachi.lg.jp

卯年うまれの年男からひとこと



山賀 巳喜夫

農地利用最適化推進委員
(松代地区)

早いもので農地利用最適化推進委員をお受けしてから 6 年目を迎えます。

私が農業を始めてから 12 年がたちました。
友人たちに勧められ、一反五畝の田んぼから始めて今では二町二反を嫁さんと二人で耕作しています。

私の住む松代地域では、条件の良い農地は耕作者が見つかるが、山間部の天水田では誰も見向きもしません。農地パトロールで担当地区を回ると年々耕作放棄地が増えているのが現状です。

そんな中、2 年くらい前から私の田んぼの近くの休耕田を馬で田起こしや代掻きをしている方がいます。お話を聞くと酒米を「馬耕米」としてお酒を作っているそうです。農作業をする馬を見ようと保育園の園児から一般の方までとても賑やかでした。

こうした体験から少しでも農業に興味を持ってもらえればと思いました。



徳永 稔

農地利用最適化推進委員
(川治地区)

農地利用最適化推進委員として活動し、間もなく 1 期 3 年の任期を終えようとしています。

毎年、農地パトロールを実施して感じることは、田畑の耕作放棄地が非常に多くあり、啞然とするばかりです。先人が人力で開拓した農地を守ることができず、残念な思いでなりません。

私たちの地域でも高齢化・担い手不足といった問題を抱えています。基幹作物である米の価格下落が大きな要因と思われます。

若者が農業に魅力を感じるには、農業経営・経済が立派に自立できなければ担い手不足の解消につながらないと思います。

私は、年間を通じて農作業のできる経営、遊休農地・耕作放棄地を利用した他作物の栽培(麦・飼料作物)等の契約栽培ができる体系化を官民協力のもと、取り組んでいただきたいと思います。またこのことは、耕作放棄地減少の一助になると思っています。



若井 君男

農業委員
(松代地区)

平成 20 年に農業委員に就任し、早いもので 5 期目が終わろうとしています。年上の方も数名となり、年をとったものだと思う昨今です。

私の住む集落には農業生産組合があり、長年中心となって携わっていますが、最盛期に比べると取扱量が半分くらいになっています。この原因としては、高齢化や担い手不足、圃場条件の悪さ、米価の下落等によるものですが、この事は特に私たちの集落だけではなく、松代地域全体においても如実に現れています。

農政部会等で農政問題や要望事項が話し合われますが、ほかの地域と比べても、あまりにも条件が違いすぎて、当地域で当てはまるのは鳥獣被害問題くらいだけです。とはいっても 80 代で農業を頑張っておられる方も多くいるので、体の続く限り頑張っていこうと思います。

編集後記

農業委員会だより「妻有のきずな第 34 号」をお届けします。

今年は 3 年に 1 度の委員改選の年となりました。農業委員会では 3 月 17 日から農業委員・農地利用最適化推進委員の募集を行います。農業に関する知識・経験が豊富な方、地域農業、農地についての相談役として委員活動に御尽力いただける方は、ご応募ください。

【事務局】

農地のお悩み相談は

お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員、または農業委員会事務局まで。